

## 岸宏子記念伊賀文学館の開館について

### 1 作家 岸 宏子 (1922 (大正 11) 年～2014 (平成 26) 年)

旧阿山郡上野町 (現・伊賀市) に生まれ、父は文豪、横光利一の従兄弟にあたる。

1942 年、20 歳の時に、小説『醜女』が日本厚生協会主催の勤労文化賞一席に入賞。戦後は、放送作家、小説家として活躍され、終生、伊賀上野で執筆活動を続けた。

ラジオ、テレビでの放送作品数は 350 作以上、放送回数は 2,800 回を超え、テレビドラマでギャクシー賞などを受賞、1990 年には紫綬褒章、1995 年には勲四等宝冠章を受章された。

### 2 岸宏子記念伊賀文学館の経緯

2015 (平成 27) 年 3 月	「伊賀の文学の振興のために」との遺言から、土地・建物、預貯金、著書・蔵書等を相続人代表より伊賀市へ遺贈
2017 (平成 29) 年度	旧宅の活用に関する市民ワークショップ開催
2018 (平成 30) 年度	伊賀文学振興会が設立、以降活用に向け市と協議
2020 (令和 2) 年度	文学振興拠点施設として整備を行う方向性を決定
2021 (令和 3) 年度	隣地取得、耐震診断調査、耐震補強計画策定
2022 (令和 4) 年度	岸宏子氏生誕 100 年事業、岸宏子記念伊賀文学館の改修工事着手、設置及び管理に関する条例の制定
2023 (令和 5) 年度	岸宏子記念伊賀文学館開館予定

### 3 岸宏子記念伊賀文学館の概要

- ・ 伊賀市文化振興ビジョン及びプランに基づき、先賢顕彰の施設として岸宏子氏のほか横光利一をはじめとした本市にゆかりの作家の紹介をする。
- ・ 地域や文学に関する活動のために教育機関や団体等から施設使用の申請があった場合に、小集会の場所として貸す。
- ・ 一般観覧だけでなく、図書館との相互利用や赤井家住宅からの誘導、文学イベント参加等の来訪者を見込む。
- ・ 夏休みなど、未就園児・児童・生徒を対象とした文学振興イベントを実施する。

### 4 岸宏子記念伊賀文学館の設置・管理

- |           |  |
|-----------|--|
| (1)目的     | 文学における郷土の文化や先賢の功績を知り、市民の文学振興を促進する場として活用を図るとともに、地域の振興に資すること |
| (2)所在地    | 伊賀市上野忍町 2435 番 13  |
| (3)休館日    | 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日までの日                                  |
| (4)観覧時間   | 土曜日及び日曜日の午前 9 時から午後 4 時 30 分までの間                           |
| (5)観覧料    | 無料   |
| (6)使用時間   | 月曜日から金曜日までの午前 9 時から午後 4 時 30 分までの間                         |
| (7)使用料    | 9:00～12:00 400 円、13:00～16:30 500 円、9:00～16:30 1,000 円      |
| (8)文学館の管理 | 指定管理者に行わせることができる   |